

# ProMED-mail情報 2018年 8月版

ProMED-mail <http://www.promedmail.org/> の記事から、感染症業務関係者の皆さまにピックアップ記事を紹介します。FORTH（厚生労働省検疫所の情報提供サイト <http://www.forth.go.jp/>）に掲載されるものは省略しています。

編集：厚生労働省福岡検疫所

掲載日	表題	概要
28日	黄熱 ブラジル	2016年2,043例、2017年777例を確定。重症例の死亡率は33.6%。ネットアイシマカ媒介の都市型で無く、森林型の流行。
26日	アフリカ豚コレラ 韓国	2018年8月3日中国瀋陽市の養豚から初めて報告。8月26日韓国空港検疫で押収した瀋陽市からの旅行者申告の豚肉製品からウイルスDNAを検出。ウイルスは、ヒトに感染しないが、豚に感染し致死率100%。
24日	シャーガス病 ブラジル	2005年ブラジル南部サンタカタリーナ州で汚染サトウキビジュースから、2007年ベネズエラで汚染グアバジュースから感染流行。今度はブラジル北部パラ州でオオサンガメの糞で汚染されたワカバキャベツヤシの飲食による18例の流行。
23日	中東呼吸器症候群 英国	2012~2013年に4例の輸入症例。中東在住の旅行者から今回5例目の輸入症例。8月16日サウジアラビア航空で入国、機内座席前後3列以内の乗客を含め追跡調査中。患者は隔離入院中で、経過良好。
18日	マラリア インド	ムンバイ市では、2011年以降、スラム地区で発症蔓延。今月の報告数は415例で昨年月に比べ50%以上減。8月6日に今年初の死亡例あり。
16日	黄熱 ナイジェリア	昨年9月からの流行は、11州20市で確認され、疑い2,400例、死亡47例。WHOは2026年目標の黄熱撲滅戦略に従い、今年1,200万人分、来年1,900万人分のワクチン寄付を約束。接種経費は一人1ドル。
13日	腸チフス パキスタン	米国CDCはパキスタン渡航者へワクチン接種を勧告。パキスタン保健省は過去6ヶ月間に国内で約2,000人の多剤耐性腸チフス感染流行を発表。流行菌株にアジスロマイシンとカルバペネムの感受性は残存するが、他の抗菌剤はすべて無効。
9日	ニパウイルス感染症 インド	2001年と2007年に西ベンガル州で流行。3度目の流行がケララ州にて今年3月から。7月17日までに19例あり、17例が死亡。2,600人以上の接触者を追跡し、有症者にウイルス検査を実施。6月1日以降に新たな発症なく、ヒトヒト感染はケララ州内に限定。
8日	マラリア インド	2017年デリー市の全罹患数は1,142例。南デリー市当局は先週34例の新患を報告、累計207例。市当局は今年度、約8万戸の家屋に蚊の繁殖報告。当局は屋内の持続性殺虫剤散布を主な対策としている。
7日	麻しん ブラジル	北部のロライマ州、アマゾナス州で今年1,053例発症、5例死亡。ベネズエラの政治経済破綻から国境両州への難民が多数。この難民からの輸入感染も多い。
5日	デング熱 オーストラリア	人口約17万人クィーンズランド市全域に2014年から2年以上かけ数億匹のボルバキア感染蚊を放出。2010年から54例のデング熱罹患が、放出後から罹患なし。このボルバキア蚊によるデング熱制圧成功を受け、ブラジル、ベトナムを含む11カ国で追試中。
4日	クリミアコンゴ出血熱 ウガンダ	北ウガンダで、疑い計42例。第1例目はルワンダからコンゴ民主共和国を経由しウガンダ難民居留地に到着した女性で、7月7日に発症。女性とその夫はCCHF検査陽性で病院隔離中。死亡例なし。
1日	H9N2鳥インフルエンザ 中国	7月21日広東省深圳市在住の24歳妊婦がH9N2鳥インフルエンザ発症し、現在の容態は良好。鳥、インフルエンザ患者との接触なし。中国でH5,H6,H7と並びH9亜型も家禽に蔓延。H9のヒト感染は過去18例。
1日	ウエストナイル熱 イタリア	7月20日~26日イタリアで20例の報告。ウイルス感染の75%は無症状。しかし、感染が神経に及ぶと10%の死亡率。発生地域の防疫を上まわり流行は拡大中。